臨床検査技師
山口　真央

妊娠中の採血は何を調べているの？

厳しい暑さの続く毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今回は妊娠中の『採血の時期』『検査項目』『内容』についてお話しします。

1.妊婦初診採血（4週～11週）

● **末梢血液一般**

赤血球、白血球、血小板数、ヘモグロビン量などを調べる検査です。貧血や感染、出血傾向がないかをみています。妊娠中は赤ちゃんに血液を送る為、貧血になることがありますが、早期に分かれば治療をすることが出来ます。

● **血糖**

糖尿病の検査です。妊娠糖尿病になると流産や早産のリスクを高め、妊娠高血圧症候群(HDP)などの合併症を発症することがあります。また、赤ちゃんにも巨大児や新生児低血糖などの合併症を発症することがあります。しかし早期発見でこれらを予防することが出来ます。

● **血液型**

分娩時などに大量出血して輸血を行うときや、母子間の血液型不適合を調べる時に必要な検査です。当院では紹介で来られた妊婦さんにも、再度確認のために血液型の検査を行っています。

● **不規則抗体**

不規則抗体は赤血球に対する珍しい抗体です。この抗体がお母さんにあると、新生児黄疸の原因となる場合があります。また、お母さんが多量に出血して輸血を行う場合にも必要な検査となります。

● **風疹（風疹抗体）**

風疹ウイルスに感染することによって引き起こされる感染症です。ワクチンや既往によって免疫があるか、現在感染しているかを調べています。妊娠初期に感染すると、赤ちゃんに白内障や心奇形、難聴などの先天性風疹症候群という先天異常を起こすことがあります。妊娠中に予防接種は出来ませんが、抗体が少なかったお母さんには産後のワクチン接種が推奨されています。

● **B型肝炎（HBs抗原）**

B型肝炎ウイルスに感染することによって起こる肝臓の病気です。B型肝炎は出産時に赤ちゃんに感染する母子感染リスクがあるため、お母さんの感染状況を調べています。陽性の場合は、出生直後（12時間以内）の赤ちゃんにワクチンを投与し母子感染予防処置を行います。

● **C型肝炎（HCV抗体）**

C型肝炎ウイルス（HCV）に感染することによって起こる肝臓の病気です。B型肝炎ウイルスに比べて感染力は弱いですが母子感染リスクがあるため、お母さんの感染状況を調べています。

● **梅毒（TP抗体）**

主に性行為や血液を介して梅毒トレポネーマと呼ばれる細菌に感染することによって引き起こされる病気です。お母さんが感染していると、赤ちゃんにも胎盤を通じて感染してしまう先天梅毒のリスクがあり、流産や死産の原因となる場合もありますが、感染の早期発見により治療も可能です。

● **エイズ（HIV抗体）**

別名、後天性免疫不全症候群と呼ばれ、主に性行為や血液を介してヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染することによって引き起こされる病気です。お母さんが感染していると、赤ちゃんにも胎盤を通じて、産道を通るとき、母乳から感染してしまいます。このためお母さんが感染している場合は厳重な管理が必要となります。

● **成人T細胞白血病（HTLV-1抗体）**

ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）に感染することで発症する血液がんの一種です。このウイルスに感染していてもほとんどの場合健康に影響はなく、流産や早産、赤ちゃんに奇形を起こすという報告もありません。感染の原因は母乳や精液です。「HTLV-1母子感染予防マニュアル」では、母乳による感染を完全に予防するためには、抗体を持っているお母さんからの授乳は避けるのが望ましいとされており、ご家族とよく話し合って母乳を飲ませるかどうか決めていただきます。

2.妊婦採血（12週～15週）

● **末梢血液一般**

● **肝機能（AST･ALT）**

肝臓は有害な物質を分解する働きがあります。肝機能が弱まると、お母さんだけでなく赤ちゃんの血液中の毒素を十分に取り除くことが出来なくなり、発育に悪影響を及ぼすことがあります。

● **血中脂質（総コレステロール･中性脂肪）**

乳汁分泌･妊娠に最適な体を作るために必要なホルモンはコレステロールが材料です。そのため、しっかり分泌されるようにコレステロールは上昇します。中性脂肪も同様に妊娠中は高めにでますが、脂質の取り過ぎはよくないので食事に関しては注意しましょう。

● **尿酸**

妊娠中は尿酸値が変動しやすく、通常よりも高くなる傾向があります。妊娠中に高いと今後妊娠高血圧症候群（HDP）になる可能性があり、赤ちゃんの発育にも悪影響を与えてしまいます。変動の要因は腎機能や水分摂取量、食事など様々なためバランスの良い食事を心がけましょう。

3.妊婦採血（24週～27週）

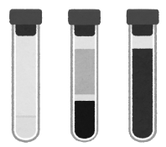
● **末梢血液一般**

● **血糖**

● **肝機能**

● **血中脂質**

● **尿酸**



4.貧血のチェック（36週）

● **末梢血液一般**

お産に備えて、貧血などになっていないかの最終チェックです。

5.無痛採血（36週）

無痛分娩を希望される方に行う採血です。採血の他にも心電図検査があります。

● **末梢血液一般**

● **凝固**

血液が固まる機能が正常かどうかを調べる検査です。

● **出血時間**

耳たぶに小さい針で傷をつけ、傷からの出血が止まるまでの時間を測定する検査です。血小板の機能を評価し一次止血（初期の止血）が正常に行われているか調べています。

6.術前採血（36週）

帝王切開になった場合に行う採血です。採血の他にも心電図検査、レントゲン検査があります。

● **末梢血液一般**

● **血糖**

● **凝固**

● **出血時間**

● **全身状態**

栄養状態、肝機能、血中脂質、腎機能、膵臓機能、炎症などいろんな項目から全身状態を調べています。

お母さんや赤ちゃんの状態によって、追加の採血が行われる場合もあります。採血が苦手な方もいらっしゃると思いますが大切な検査の為、少しだけ我慢してください。気分が悪くなる方は、横になって採血もできますのでお気軽にお申し出ください。検査についてご不明な点、ご心配なことがありましたら、医師や臨床検査技師にご相談ください。